

第20回青森県障害者技能競技大会

＜パソコンデータ入力B 競技課題＞

1. 競技課題及び競技条件

(1) 競技課題

本競技は、パソコンによるデータ入力作業とする。具体的には、次の2種類の競技であり、課題は競技当日に配布する。

- ①アンケートはがき入力競技
- ②文章修正（ワープロ入力）競技

(2) 競技時間等

競技時間は120分程度とし、競技実施の流れと時間配分は以下のとおりとする。

◆開始

- ①全体説明（5分）
- ②アンケートはがき入力競技の準備と説明（15分）
- ③アンケートはがき入力競技の実施（30分）
- ④後処理（5分）
- ⑤休憩（10分）
- ⑥文章修正競技の準備と説明（15分）
- ⑦文章修正競技の実施（30分）
- ⑧後処理（5分）
- ⑨競技終了・選手退出（5分）

◆終了

(3) 作品の提出方法

アンケートはがき入力競技と文章修正競技については、競技者が作成した電子ファイルが自動的にパソコンのハードディスクに保存されるので、それをもって提出作品とする。

2. 競技課題の詳細 競技課題は、以下の内容とする。

(1) アンケートはがき入力競技

競技当日に配布されるアンケートはがきの記載データをパソコン画面に入力する。
入力結果は、電子ファイルとして提出する。

(2) 文章修正（ワープロ入力）競技

- ① 競技当日、画面にある課題（データ）について完成見本（正解）を見ながら、文書中の誤字を修正する。修正結果は、電子ファイルとして提出する。
- ② 文字の修正はすべて全角で修正する。
- ③ 修正する文字は「ふりがな」「カタカナ」「アルファベット」「数字」の4種類。

(3) 競技に係る配布物 競技者には競技当日に次の課題が配布渡される。

- ①競技課題（当日用）
- ②入力用アンケートはがき
- ③完成見本（文書修正課題用）

3. 使用機器等

(1) 主催者が準備するもの

- ①ハードウェア
 - ・ デスクトップ型パソコン
 - ・ 液晶ディスプレイ
 - ・ JIS 標準配列キーボード
 - ・ 標準 2 ボタン式マウス
- ②ソフトウェア
 - ・ 基本ソフトウェア : Microsoft Windows 10 Enterprise
 - ・ アプリケーションソフト : Microsoft Office 2016
- ③備品類
 - ・ パソコンデスク
 - ・ O A チェア
 - ・ マウスパッド
 - ・ 書見台

(2) 当日持ち込めるもの

- ①筆記用具
- ②メモ用紙

4. 注意事項

- ① 競技会場での座席の位置は、予め主催者が決定しておく。
- ② パソコンに補助具等（ハード及びソフト）の導入が必要な場合は、事前に事務局に申し出ること。それらは原則として競技者自身が持参し、競技前日に競技委員が立ち合いのもとで導入する。ただし、導入に関して不具合があっても特別な配慮は行わない。
- ③ 競技中に万一機器が故障した場合は、競技委員の指示に従う。
- ④ 上記 3 の（2）に記載したもの及び 4 の②以外の競技会場への持ち込みは一切できない。

◆アンケートはがきとアンケート入力画面の例

アビリン雑貨店 お客様アンケート	
いつもご利用いただき誠にありがとうございます。	
アンケートにご協力くださいますようお願いいたします。	No 1
1. このたびは何を購入されましたか? 1つだけお選びください。	回答欄 7
1. 文具 2. キッチン用品 3. 洗濯用品 4. 風呂用品 5. 玄関用品 6. 収納用品 7. リビング用品 8. トイレ用品 9. 屋外用品 10. その他	
2. ご購入された商品は何でお知りになりましたか? 1つだけお選びください。	回答欄 1
1. 新聞 2. テレビ 3. ラジオ 4. 雑誌 5. その他情報誌 6. 折込広告 7. 車内広告 8. Web 9. その他広告 10. ご家族、ご友人	
3. 購入された理由は何ですか? 1つだけお選びください。	回答欄 5
1. 商品がきにいったから 2. 値段が手ごろだったから 3. 家族にすすめられたから 4. 友人が使っていたから 5. 今使っているものが古くなったから 6. その他	
4. ご購入した商品は満足いただけましたでしょうか?	回答欄 1
1. 大変満足 2. まあまあ満足 3. どちらかといえば不満足 4. たいへん不満	
5. よろしければ、お客様について、お教えてください。	
5.① フリガナ	回答欄 イシザカ ゼンイチ
5.② 氏名	回答欄 石坂 善一
5.③ 性別	1 男性 2 女性 回答欄 1
5.④ 年齢	回答欄 5
	1.10代 2.20代 3.30代 4.40代 5.50代 6.60代 7.70歳以上
5.⑤ 職業	回答欄 4
	1.小学生 2.中高生 3.短・専門・大学生 4.管理職 5.事務職 6.専門・技術職 7.販売・サービス業 8.建設業 9.工場勤務 10.主婦・主夫 11.無職 12.その他
5.⑥ 電話番号	回答欄 0287-18-7919
5.⑦ メールアドレス	回答欄 fvr.gawciaw@a-material.co.jp

項目	回答
①1	
②1	
③1	
④1	
⑤1	
⑤2	
⑤3	
⑤4	
⑤5	
⑤6	
⑤7	

◆文章修正（ワープロ入力）の例

【 完成見本（正解）】

No
1. 名称 大会の正式な名称は「全国障害者技能競技大会」ですが、親しみやすいものとするため、愛称として「アビリンピック」を使っています。「アビリンピック」(ABILYMPICS)は、「アビリティ」(ABILITY・能力)と「オリンピック」(OLYMPICCS)を合わせたものです。
2. 目的 本大会は、障害のある方々が日頃培った技能を互いに競い合うことを通じて、職業能力の向上を図るとともに、企業や社会の障害者雇用に対する理解を深め、その雇用を促進することを目的として開催しています。
3. シンボルマーク 大会を象徴するシンボルマークは、故岡本太郎氏にお願いして作っていただいたものです。月桂樹の葉と人間を形どったこのシンボルマークは、強く自分を切り開いてゆく人間像を表しています。
4. アビリンピックの歴史 第1回大会は、1972年(昭和47年)11月に当時の皇太子同妃両殿下をお迎えして千葉県で開催されました。以降、国際アビリンピックが開催される年を除いて毎年開催しています。 また、第1回大会から第25回大会まで千葉県を舞台として開催してきましたが、第26回大会(平成14年)より、全国的に障害者の雇用促進に関する気運を盛り上げるため、熊本県・宮城県・山口県・香川県・千葉県・茨城県・神奈川県・長野県・千葉県・愛知県・山形県と地方都市で開催してきました。第37回大会となる今回は、栃木県で開催いたします。
5. 国際アビリンピックについて 国際アビリンピックは、1981年(昭和56年)の国際障害者年を記念し、当時の皇太子殿下を名誉総裁に推戴し、東京で第1回大会が開催されました。以来、コロンビア、香港、オーストラリア、チェコ、インド、日本(静岡)、韓国とほぼ4年に1度開催されています。第9回国際アビリンピックは2016年(平成28年)3月23日～26日までの4日間、フランス(ボルドー)で開催されました。
6. 喫茶サービス 「喫茶サービス」は、模範的に設置された喫茶店で、お客様に対して他の従業員と連携・協力しながら、お客様の立場に立って正確に、かつ、スムーズにサービスを提供する技術を競うものです。

【 回答（見本）】

No. 0
1. 名称 大会の正式な名称は「全国障害者技能競技大会」ですが、親しみやすいものとするため、愛称として「アビリンピック」を使っています。「アビリンピック」(ABILYMPICS)は、「アビリティ」(ABILITY・能力)と「オリンピック」(OLYMPICCS)を合わせたものです。
2. 目的 本大会は、障害のある方々が日頃培った技能を互いに競い合うことを通じて、職業能力の向上を図るとともに、企業や社会の障害者雇用に対する理解を深め、その雇用を促進することを目的として開催しています。
3. シンボルマーク 大会を象徴するシンボルマークは、故岡本太郎氏にお願いして作っていただいたものです。月桂樹の葉と人間を形どったこのシンボルマークは、強く自分を切り開いてゆく人間像を表しています。
4. アビリンピックの歴史 第1回大会は、1972年(昭和47年)11月に当時の皇太子同妃両殿下をお迎えして千葉県で開催されました。以降、国際アビリンピックが開催される年を除いて毎年開催しています。 また、第1回大会から第25回大会まで千葉県を舞台として開催してきましたが、第26回大会(平成14年)より、全国的に障害者の雇用促進に関する気運を盛り上げるため、熊本県・宮城県・山口県・香川県・千葉県・茨城県・神奈川県・長野県・千葉県・愛知県・山形県と地方都市で開催してきました。第37回大会となる今回は、栃木県で開催いたします。
5. 国際アビリンピックについて 国際アビリンピックは、1981年(昭和56年)の国際障害者年を記念し、当時の皇太子殿下を名誉総裁に推戴し、東京で第1回大会が開催されました。以来、コロンビア、香港、オーストラリア、チェコ、インド、日本(静岡)、韓国とほぼ4年に1度開催されています。第9回国際アビリンピックは2016年(平成28年)3月23日～26日までの4日間、フランス(ボルドー)で開催されました。
6. 喫茶サービス 「喫茶サービス」は、模範的に設置された喫茶店で、お客様に対して他の従業員と連携・協力しながら、お客様の立場に立って正確に、かつ、スムーズにサービスを提供する技術を競うものです。

【 修正用課題データ（見本）】

NO
1. 名称 大会の正式な名称は「全国障害者技能競技大会」ですが、親しみやすいものとするため、愛称として「アビリンピック」を使っています。「アビリンピック」(ABILYMPICS)は、「アビリティ」(ABILITY・能力)と「オリンピック」(OLYMPICCS)を合わせたものです。
2. 目的 本大会は、障害のある方々が日頃培った技能を互いに競い合うことを通じて、職業能力の向上を図るとともに、企業や社会の障害者雇用に対する理解を深め、その雇用を促進することを目的として開催しています。
3. シンボルマーク 大会を象徴するシンボルマークは、故岡本太郎氏にお願いして作っていただいたものです。月桂樹の葉と人間を形どったこのシンボルマークは、強く自分を切り開いてゆく人間像を表しています。
4. アビリンピックの歴史 第1回大会は、1972年(昭和41年)11月に当時の皇太子同妃両殿下をお迎えして千葉県で開催されました。以降、国際アビリンピックが開催される年を除いて毎年開催しています。 また、第1回大会から第25回大会まで千葉県を舞台として開催してきましたが、第26回大会(平成14年)より、全国的に障害者の雇用促進に関する気運を盛り上げるため、熊本県・宮城県・山口県・香川県・千葉県・茨城県・神奈川県・長野県・千葉県・愛知県・山形県と地方都市で開催してきました。第37回大会となる今回は、栃木県で開催いたします。
5. 国際アビリンピックについて 国際アビリンピックは、1981年(昭和58年)の国際障害者年を記念し、当時の皇太子殿下を名誉総裁に推戴し、東京で第1回大会が開催されました。以来、コロンビア、香港、オーストラリア、チェコ、インド、日本(静岡)、韓国とほぼ4年に1度開催されています。第9回国際アビリンピックは2016年(平成28年)3月23日～26日までの4日間、フランス(ボルドー)で開催されました。
6. 喫茶サービス 「喫茶サービス」は、模範的に設置された喫茶店で、お客様に対して他の従業員と連携・協力しながら、お客様の立場に立って正確に、かつ、スムーズにサービスを提供する技術を競うものです。